



## 荻町交流施設検討委員会報告

守る会会長 板並 和夫

「荻町交流施設」とは飛騨農林事務所が中山間事業を導入し、農業生産基盤と農村生活環境の整備を目的として、荻町集落内の旧国道（診療所交差点～上町）の道路舗装等の整備を行う事業です。この事業については、荻町区・荻町発展会の役員及び守る会の委員による「荻町交流施設検討委員会」により施工方法等を検討することとしており、6月10日に本年度1回目の委員会が開催されました。以下に検討結果等についてお知らせします。

- |         |     |                      |                           |
|---------|-----|----------------------|---------------------------|
| 1. 事業内容 | 舗装  | 7,000 m <sup>2</sup> | 基本的には脱色アスファルトで考えられている。    |
|         | 側溝蓋 | 1,800 m              | 現在のタイル張りの蓋、グレーチングを含め全面改良。 |
|         | 車止め | 40本                  | 農業市等のイベントを考慮の施設。          |

### 2. 委員会の内容

#### (1) 農山村整備事務所より、

- ・脱色舗装と一般舗装の単価説明（脱色 4,100～4,500 円/m<sup>2</sup> 一般 1,600 円/m<sup>2</sup>）
- ・側溝蓋及びグレーチングの工法、種類、単価等の説明及びサンプルの提示

#### (2) 村の建設係から

- ・上町方面でのトンネル湧水の水路等地下埋工事は舗装工事までに完了させる。
- ・集落の写真を加工修正した舗装と側溝蓋のイメージ写真の提示があった。

#### (3) 荻町の委員による視察結果の報告

（3月6日及び3月20日に実施した五箇山及び美濃市・古川・高山の視察結果について）

- ・舗装については、カラー舗装より土道に近い脱色舗装が良いのでは。
- ・側溝蓋・グレーチングは道路舗装材と同じ表面加工が出来ないか。等について報告した。

#### (4) 区民の意見要望について報告説明（5月寄合で把握）

- ・幹線や他の道路と舗装の色彩が変わると景観がおかしくなる。黒の舗装でも良いのでは。
- ・透明（脱色）の舗装でも地元の骨材を使い、黒に近い色合いを出すのが良いのでは。
- ・車止めは以前にも付けたことがある。維持管理の反省から無い方が良いのでは。
- ・除雪に配慮した施工をお願いしたい。
- ・集落内の他の道路についても同じ舗装で整備出来ないか。等について報告要望した。

### 3. 今後の検討計画

- コンサル会社に基本設計を委託。結果を委員会に提示し具体的に検討。実施設計は来年。
- 集落全体の整備要望や利用計画についての意見等を次回委員会までにまとめる。
- 次回の委員会は9月頃を予定する。



【菅沼のカラー舗装】



【相倉の脱色舗装】



【荻町の土道と幹線の一般舗装】

**全伝協倉吉大会に参加しました……**5月20～22日に鳥取県倉吉市において、第31回全国伝統的建造物群保存地区協議会総会及び研修会が開催され、守る会より板並会長、長瀬議員、和田の3名が参加いたしました。以下に研修内容を紹介し参加報告といたします。

**1日目……**事例発表として、同じ世界遺産である島根県石見銀山や次回開催地青森県弘前市仲町伝建地区が発表。石見では銀山とともに栄えた商家である国重文熊谷家の管理やボランティアに関わる女性が発表され、地域の歴史文化に誇りを持って活動する姿やおもてなしの心が印象に残りました。弘前市仲町は桜で有名な弘前公園の側に立地する武家屋敷の町並みで、町おこしとしての観光化を目指すか静かな住環境を取るかで揺れ動いているとのこと。記念講演では東京芸術大学の上野勝久教授がお話くださり、伝建制度と倉吉市打吹玉川伝建地区の概要について理解できました。

**2日目……**午前中は伝建地区内をフィールドワーク。倉吉は江戸から大正時代にかけて商工業都市として繁栄し、豊かな意匠をもつ町家が並ぶ本通りと土蔵群と石橋が並ぶ玉川沿い（写真）が保存地区となっています。午後は3つの分科会に分かれての意見交流会。他地区は空家問題が深刻であったり観光客の集客に苦勞しているのに対し、白川郷は伝建地区のパイオニアとして注目を集める地区となっていることを実感しました。だからこそ、景観をしっかり守り地域振興につなげる模範となっていかなばと強く感じました。



【土蔵の板壁は焼杉を使用】

**3日目……**帰路に智頭町の宿場町や板井原地区を視察しました。板井原は国の重伝建選定を目指している農山村地域で、町指定の茅葺住宅1棟を始め昭和30年代の農山村の原風景を残す貴重な集落といえます。近代的な住宅が1棟もない集落だけに、今後の保存や活用に注目したいところです。なお、3日間の研修資料や写真データは和田が整理・保存していますので、関心のある方はお知らせ下さい。貴重な研修の機会をいただきありがとうございました。【文責：和田】

**合掌財団視察研修のご案内……**平成21年度自治保存会育成事業視察研修が以下のように実施されます。希望者は6月21日（日）までに守る会各組委員にお知らせ下さい。

- 期 日：7月6日（月）～7日（火） （個人負担：5,000円程度）  
 場 所：奈良県宇陀市（伝建地区）、明日香市（古都法及び明日香法による第1種及び第2種歴史的風土特別保存地区、奈良県風致地区）  
 内 容：伝建地区視察、あすか夢耕社による農業オーナー制度や特産品開発等について視察予定  
 （詳しくは別紙企画書をご覧ください。また、不明な点は合掌財団まで。）

### 守る会の活動指針（国際フォーラム白川郷宣言より）

- (1) 隣人にやさしい心豊かで安全な共同生活のいっそうの充実
- (2) かけがえのない美しい文化遺産の保全と未来への確かな継承
- (3) 国内外の人々との文化交流を通して友好の輪の拡大

## ＝ 5月の活動報告 ＝

- 5月 9日 20年度後期分会計監査（事務局）
- 5月 11日 5月定例会（17名）12日会報ねそ5月号配付
- 5月 14日 鳥根県教育委員会文化課来郷（会長・事務局）
- 5月 20日 全国伝統的建造物群保存地区協議会総会・研修会（～23日 鳥取県倉吉市 3名）
- 5月 24日 元休耕田しろかき作業
- 5月 28日 名古屋国際学園田植え体験支援（財団・守る会）
- 5月 29日 全国農村アメニティ・シンポジウム（会長・副会長）
- 5月 30日 元休耕田田植え作業

### ＝ 区民の皆様へ ＝

建物や土地などの現状を変更する場合は許可が必要です。必ず現状変更申請をして下さい。申請書は守る会定例会の2週間前までに、各組委員に内容を説明の上、委員又は財団に提出して下さい。このことは、遺産の保全と未来への継承のためとても重要なことです。皆様のご理解ご協力をお願いします。  
 （7月の定例会は10日を予定しています。）

### ☆6月の協議事項（現状変更申請に関わって）☆

- |               |                     |                |
|---------------|---------------------|----------------|
| ****……屋根葺替    | ****……妻面茅壁の修理       | ****……墓石       |
| 白川村……大溝遊歩道の修繕 | 白川村……みだしま公園取付道側溝蓋設置 | 荻町区……側溝転落防止柵設置 |